

参加費：無料
オンライン開催

インバウンド市場拡大時代

～関係人口づくりを促進する新たな手段、WEB3とは～

～外国人インフルエンサー活用の実務・留意点～

訪日外客数が過去最高の4,268万人を突破し、2030年の6,000万人目標へ向けて急成長を続けるインバウンド市場。今、地域活性化の鍵として「Web3を活用した関係人口の創出」や「外国人インフルエンサーの発信力」が不可欠となっています。

しかし、適切な実務対応（契約・税務・法規制等）の知識不足によるトラブルも散見されるのが現状です。本セミナーでは、Web3を用いた新たな接点構築の可能性と実際の成功事例をご紹介しますとともに、外国人インフルエンサー活用において押さえるべき実務上の留意点を分かりやすく解説します。

SPEAKER



一般社団法人日本WEB3ツーリズム協会 代表理事

岩下 拓氏

2021年前職JTBを退職後、業界の人材不足、財源不足、手数料問題等の課題解決手段として「Web3」技術に着目。22年4月当協会を設立。「第5次観光立国推進基本計画」にAIと共にWeb3活用が明文化。約40社の会員と共にWeb3の普及に努めている。

こんな方におすすめ

- ・企業（マーケティング・海外事業担当）
- ・自治体・DMO関係者
- ・観光・流通・小売・不動産関連事業者
- ・広告・PR会社等

プログラム

- ・スペインのクリエイター連合及び韓国インフルエンサーEC協会からのご挨拶
- ・Web3×ツーリズムと地方における関係人口の創出（Web3ツーリズム協会 代表理事）
- ・ゲーミフィケーションを通じて関係人口の創出の成功事例紹介（株式会社DEA 代表取締役社長）
- ・外国人インフルエンサー活用における実務と留意点（当協会 法規制委員/APOC代表）



株式会社DIGITAL ENTERTAINMENT ASSET 代表取締役社長

山田 耕三氏

1977年生まれ。東京大学法学部を卒業後、2002年にテレビ東京へ入社し、音楽やバラエティ番組を中心に数多くの番組制作に携わる。2018年にはシンガポールにてDEA社を創業。東京電力との協業による市民参加型のインフラ点検陣取りゲーム「ピクトレ」をはじめ、社会課題を解決するためのゲーミフィケーション事業を精力的に展開している。現在は、Web3およびゲーミフィケーションの専門家として、メディアでの発信や講演活動を幅広く行っている。



一般社団法人日本国際インフルエンサー協会 法規制委員

(株式会社APOC 代表)

齋藤 峻輔氏

2022年株式会社APOCを設立し、ゼロからのプロダクト・プロジェクト開発をリード。海外向けプレスリリース配信サービス「グローバルプレス」と、外国人インフルエンサーPRプラットフォーム「UZU」を展開し、それぞれ上場企業を含む100社以上の導入実績あり。

日時：7月16日（木）14:00～15:30

形式：オンライン

参加費：無料（事前申込制）

【開催概要】

主催：一般社団法人日本国際インフルエンサー協会

協力：スペインクリエイター連合
韓国インフルエンサーEC協会
一般社団法人日本Web3ツーリズム協会
株式会社 Digital Entertainment Asset

お申し込みフォーム →

info@j-iiia.org

www.j-iiia.org

